

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター三豊



○事業所名	COMPASS発達支援センター三豊		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日	～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた運動療育を行っています。	専門的な知識をもとに、安全かつ楽しく取り組めるプログラムを提供し、身体機能の向上だけでなく、自己肯定感の育成や社会性の獲得にもつながる支援をおこなっております。 好きなあそびや音楽を活用しながら体幹トレーニングや体操をする時間を設けております。	児童の興味・関心を活かした遊びを取り入れながら、感覚統合・バランス運動・協調運動・リズム運動など目的別に多様なプログラムを用意してまいります。 また、体育館などの広い場所を活用し、ダイナミックな運動療育がおこなえる機会を増やしてまいります。
3	理学療法士、児童指導員、保育士などの専門職が連携し、児童の課題に多角的にアプローチできる体制を整えております。	チームでの支援により、柔軟で実践的な対応が可能です。	職種間で支援の目的や児童一人ひとりの課題を共有し、それぞれの専門性を生かした役割分担を意識しながら、よりよい支援に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動をおこなう場としては狭く感じることもあります が、限られた空間でも実施できる運動を取り入れております。	国で定められた基準以上のスペースは確保している が、施設の構造上広い運動スペースが確保しにくい ため、大がかりな運動や大勢での活動には制限があり ます。	少人数や個別での運動を順番に行い無理のない活動 を行ってまいります。 また、スペースを活かしたサーキット運動や体幹 トレーニングなど、広さに応じた工夫を行ってまい ります。
2	地域交流の場や機会がありません。	地域のイベントはあるものの、当日のトラブル等に 対する不安があり現在は参加できていない状況 です。	地域資源の情報収集も積極的におこない、児童にと って安心して参加できる外部活動の場を増やして いくことを目指します。



公表日：令和8年3月10日